

第77回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会
北信越・東海・近畿ブロック予選会（少年の部）開催要項



- 1 主催 (公財)日本スポーツ協会
(公財)長野県スポーツ協会 (公財)富山県体育協会 (公財)愛知県スポーツ協会
(公財)滋賀県スポーツ協会 (公財)京都府スポーツ協会 (公財)大阪府スポーツ協会
(公財)兵庫県体育協会
長野県教育委員会 富山県 愛知県 滋賀県 京都府教育委員会
大阪府教育庁 兵庫県教育委員会
長野県アイスホッケー連盟 富山県アイスホッケー連盟 愛知県アイスホッケー連盟
滋賀県アイスホッケー連盟 京都府アイスホッケー連盟 大阪府アイスホッケー連盟
兵庫県アイスホッケー連盟
- 2 競技主管 兵庫県アイスホッケー連盟・神戸市アイスホッケー協会
- 3 期 日 令和3年12月25日（土）～26日（日）
- 4 会 場 神戸市立ポートアイランドスポーツセンター
神戸市中央区港島中町 6-12-1（電話 078-302-1031）
- 5 参加資格 北信越・東海・近畿ブロックの各府県1チーム
第77回国民体育大会アイスホッケー競技会の要項に定められている参加資格によるものとします。
- 6 競技方法 (公財)日本アイスホッケー連盟競技規則、「近畿・北信越・東海国体ブロック予選会（少年の部）についての取り決め（平成19年12月22日制定、平成24年6月16日改定）」並びにこの要項に定める競技方法によるものとします。
 - (1) 競技時間は、各ピリオド15分、インターバルは5分（試合前の練習後に整氷）とします。
 - (2) トーナメント方式で行い、タイムアウト（30秒）は1回とします。
 - (3) 第3ピリオド終了時に同点の場合は、5分間のサドンビクトリー方式による3on3の延長戦を行って勝敗を決します。
 - (4) 延長戦でも決しない場合は、3名ずつのゲームウイニングショットによって勝敗を決します。なお決しない場合は、1名ずつのサドンビクトリー方式によるゲームウイニングショットで勝敗を決します。
 - (5) 理由の如何を問わず試合開始予定時刻を15分過ぎてもゴールキーパーを含め6名以上の選手を揃えられないチームは不戦敗とし、0対15のスコアとします。
 - (6) 試合進行のために必要な員数を氷上に揃えることができなくなった時点で没収試合とし、0対15で当該チームの敗戦とします。
 - (7) 上位3チームに国体本戦の出場権が与えられます。

- 7 参加者数 1チームの選手登録は25名以内とし、監督会議で確認した後の変更は認めません。但し、1試合にベンチ入りできる選手はゴールキーパー2名を含め19名以内とします。チームオフィシャルは、監督を含め6名以内とします。
- 8 参加申込 国民体育大会参加申込システム及び(公財)日本アイスホッケー連盟のFaceoffシステム大会申込フォームにより手続きをしてください。

参加申込完了期限 令和3年11月26日(金)

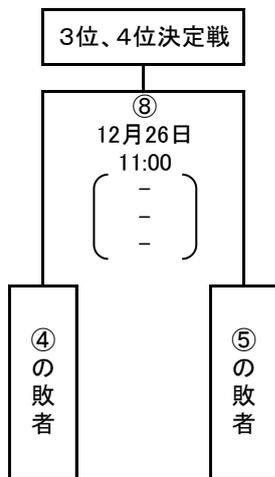
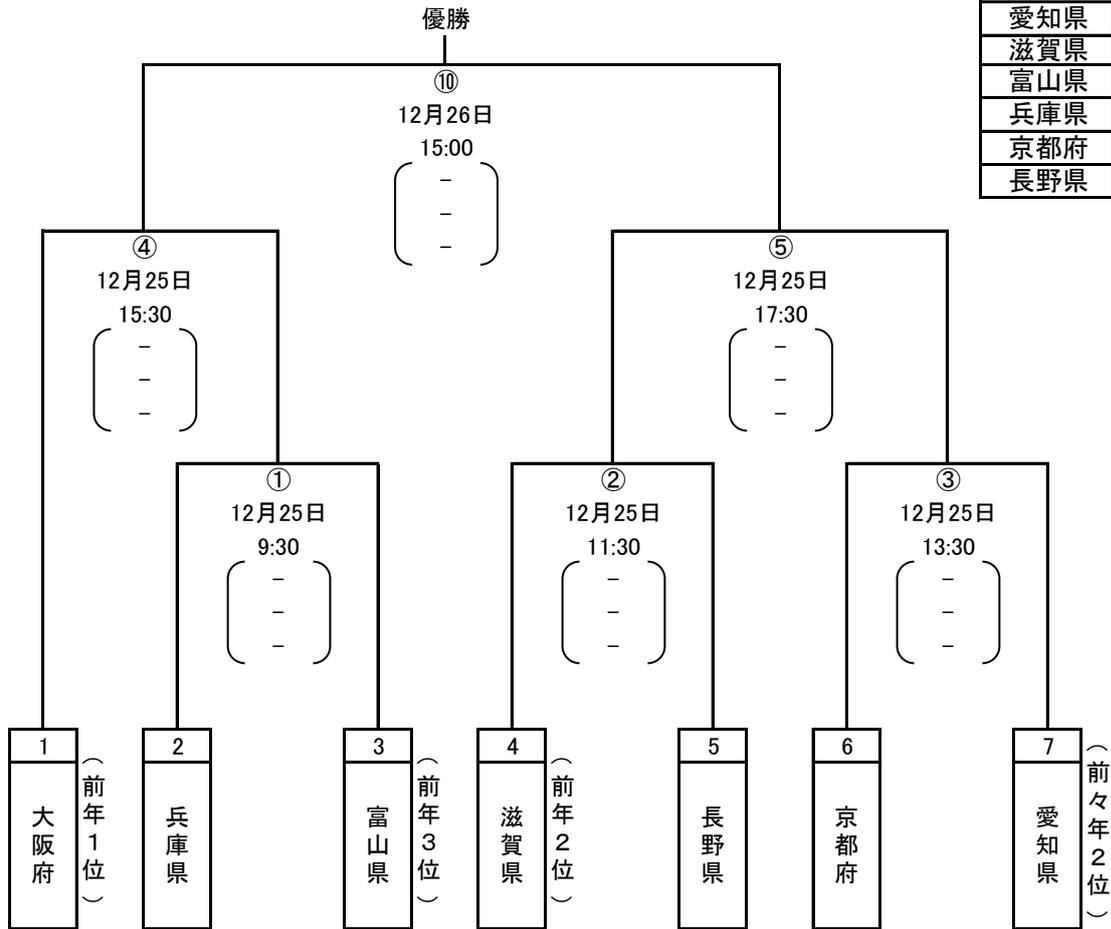
Faceoff システム URL https://www.jihf.or.jp/****/*****/
ログイン用大会 ID ***
ログイン用パスワード *****

- 9 参加料 1府県 150,000円
令和3年11月26日(金)までに下記口座へ納入してください。
三井住友銀行 豊岡支店(470) 普通預金 口座番号 *****
兵庫県アイスホッケー連盟 会長 佐々木史郎
(ヒョウゴケンアイスホッケーレンメイ カイチョウ ササキシロウ)
- 10 組合せ 別紙
- 11 監督会議 日時 令和3年12月25日(土) 午前9時15分～
場所 神戸市立ポートアイランドスポーツセンター 会議室
※ユニフォーム(正・副)を持参してください。
- 12 宿 泊 幹旋はいたしませんので、各府県においてご対応願います。
- 13 その他 開、閉会式は行いません。
競技会場への交通手段は参加各県にて対応してください。
会場専用駐車場はありません。近隣の有料パーキングを使用してください。
観光バス等の駐車場が必要な場合は、開催2週間前までにご連絡ください。
各県参加者は傷害保険に加入するとともに、健康保険証を持参してください。
新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力いただく事項については、別途、お知らせいたします。

お問い合わせ 兵庫県アイスホッケー連盟事務局
〒668-0047 兵庫県豊岡市三坂町4-7 (TEL/FAX : 0796-***-****)
メールアドレス: hyogo.ice_hockey.f@icloud.com

第77回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会
近畿・東海・北信越ブロック予選会(少年の部)組合せ

参加府県
大阪府
愛知県
滋賀県
富山県
兵庫県
京都府
長野県



5位、6位決定リーグ戦

	①の敗者	②の敗者	③の敗者	勝負	順位
①の敗者	⑥ 12月25日 19:30 (-) (-) (-)	⑨ 12月26日 13:00 (-) (-) (-)			
②の敗者	⑥ 12月25日 19:30 (-) (-) (-)		⑦ 12月26日 9:00 (-) (-) (-)		
③の敗者	⑨ 12月26日 13:00 (-) (-) (-)	⑦ 12月26日 9:00 (-) (-) (-)			

※愛知県は前年度本大会主催県により前回予選会には参加していないため、「近畿・北信越・東海国体ブロック予選会(少年の部)についての取り決め」により、前々年予選会の結果により第2シードとする。

第77回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会

北信越・東海・近畿ブロック予選会（少年の部）

タイムテーブル

日	試合No.	内容	時間帯	控室	対戦組合せ	控室
25日	第1試合	練習	9:15~9:25	B	兵庫県 : 富山県	A
		整氷	なし			
		試合	9:30~11:00			
	第2試合	練習	11:00~11:10	B	滋賀県 : 長野県	A
		整氷	11:10~11:25			
		試合	11:30~13:00			
	第3試合	練習	13:00~13:10	B	京都府 : 愛知県	A
		整氷	13:10~13:25			
		試合	13:30~15:00			
	第4試合	練習	15:00~15:10	B	大阪府 : 第1試合の勝者	A
		整氷	15:10~15:25			
		試合	15:30~17:00			
	第5試合	練習	17:00~17:10	B	第2試合の勝者 : 第3試合の勝者	A
		整氷	17:10~17:25			
		試合	17:30~19:00			
	第6試合	練習	19:00~19:10	B	第1試合の敗者 : 第2試合の敗者	A
		整氷	19:10~19:25			
		試合	19:30~21:00			
26日	第7試合	練習	8:45~8:55	B	第2試合の敗者 : 第3試合の敗者	A
		整氷	なし			
		試合	9:00~10:30			
	第8試合	練習	10:30~10:40	B	第4試合の敗者 : 第5試合の敗者	A
		整氷	10:40~10:55			
		試合	11:00~12:30			
	第9試合	練習	12:30~12:40	B	第3試合の敗者 : 第1試合の敗者	A
		整氷	12:40~12:55			
		試合	13:00~14:30			
	第10試合	練習	14:30~14:40	B	第4試合の勝者 : 第5試合の勝者	A
		整氷	14:40~14:55			
		試合	15:00~16:30			

このたび予選会開催にあたり、次のページのとおり「新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドライン」を作成し、これを基準に予選会を運営いたします。

試合会場（施設）に入るすべての関係者は、次の事項を必ず実施していただき、関係資料を提出していただくこととなりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

- 1 2週間前健康チェックシート（当日入場時にご提出ください。）
- 2 試合前々日から試合当日の朝までの期間に抗原検査を実施し、その結果をリンク入場チェックシート（当日用）に記入してご提出ください。
※抗原検査キットの指定はありません。各府県でご準備のうえ実施してください。
- 3 本予選会は無観客で実施します。会場に入場できる方は、参加各府県選手、監督等チームスタッフ、府県スポーツ（体育）協会関係者、予選会運営本部関係者（レフリー・ラインズマン・オフィシャル・案内係）に限定させていただきます。

1. 前提と目的

- ① 政府・自治体・JHF・スポーツ協会などの方針に則り本ガイドラインを定め、運用する
- ② 政府・自治体および関連するスポーツ団体の方針変更があった場合は直ちに本ガイドラインを修正し施行する
- ③ 本ガイドライン策定にあたり、選手、チームスタッフ、レフェリー、ゲームオフィシャル、大会役員や観客、その他全ての運営関係者の感染リスクを極力抑えることを最大の目的とする

2. 全ての関係者が日常留意すべき項目

- ① 選手、監督、コーチ、レフェリー、スタッフ等は発熱・咳・倦怠感等の症状を認めたら休む勇気を持つこと
- ② 症状の有無に関わらず日ごろから感染予防に努める

その結果が

- ・選手、監督、コーチ、レフェリー、スタッフを守る
- ・選手、監督、コーチ、レフェリー、スタッフ、がクラスターになることを防ぐ事になることを理解する。

改めてコロナについて記載するが、

A 感染経路

(1) 飛沫感染:咳、くしゃみ、おしゃべりによる感染

感染者の飛沫(くしゃみ、咳、つばなど)と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染。ウイルスが含まれる「飛沫」は、咳やくしゃみのみならず、おしゃべりによっても排出される。多数の人が多く集まる環境、近距離での会話、換気の悪い密閉空間、といった3条件が重なる状況では、特に感染するリスクが高くなる。

(2) 接触感染:手で触れることによる感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつく。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻や眼を触ることにより粘膜から感染。咳やくしゃみ、おしゃべりで環境に排出されたウイルスは、テーブルなど環境表面に付着し、定期間生存している。汚染した環境に触れた手指などを介して、ウイルスが粘膜(口、鼻、眼など)から侵入することにより感染が成立する。

B 感染時期

新型コロナウイルス感染症は、発症の2日程度前、すなわち症状のない時期から感染性があることが明らかになっている。従って、前述した感染リスクの高い3条件が揃った状況では、症状がない場合でもマスク着用や手指衛生による感染防止策が大切である。また症状が軽快した後も長期間 PCR検査で陽性が持続する場合や、一旦陰性化した後に再度症状とともに陽性化することも報告されている。一度感染した場合の復帰については、慎重な判断が求められる。

C 感染を促進する3要因

- (1) 多くの方が集まる状況での濃厚接触（手が届く範囲での交流）
- (2) 近距離での咳・くしゃみ、おしゃべり、発声
- (3) 換気の悪い密閉空間

D 感染リスクが高まる環境・状況

特に換気の悪い「密閉」された空間で多くの方が発声を伴う行動歌唱や会話等を、対面を含む「密接」した状況で行い、一定時間の接触がある場合(密集)、2次感染が発生する可能性が高くなることが知られる。

繁華街等これまでにクラスターの発生している施設等への外出を自粛する。

E 一般的な予防方法

- (1) 人混みを避ける
- (2) 手洗いの励行
- (3) 口・鼻・目に不用意に触れない
- (4) 規則正しい生活とバランスのとれた食事

上記内容を常に意識して日常生活を行う。

3. チームの生活について

①選手間においても接触を極力減らす取組

- ・練習では徹底した事前消毒、換気を実行する
- ・施設内の移動はもとより、着替える時など共用部分でのマスク着用を徹底する
- ・手摺、ドアノブ、エレベーターボタン等には素手で触れない、触れた場合はすぐに手指消毒を行う
- ・ミーティング等においても狭い場所に集まらないなど、可能な限り WEB を利用して行う

②移動はなるべく公共交通機関を利用しない

③貸切バス、自家用車での移動に関しては以下の点を遵守する

- ・車内消毒、運転手の健康管理・マスク着用を事前に周知し実施する
- ・移動中、チームおよび関係者は必ずマスクを着用し、密を避けるべく隣り合う座席への着席を避ける
- ・可能な限り窓を開け換気を行う

④継続的に日々の行動記録を記録すること。当連盟が提供する「健康管理チェックシート」又は、アプリ「GLOBAL SAFETY」で記録すること。試合当日から遡って2週間記録し、試合当日に本部（2階受付）まで各チームがまとめて提出（アプリの場合は適応箇所をプリントアウトして持参）

4. チームの宿泊

（宿泊施設への依頼や相談）【選手、チームスタッフ】

- (1)チームの宿泊施設の従業員や利用客との接触を減らすよう、工夫する。
- (2)施設単位またはフロア単位での貸し切りを検討する。
- (3)チーム専用の入口、動線、エレベーター等を設置できないか、検討する。
- (4)食事会場はチーム専用になるように検討する。
- (5)チームが使用する部屋は事前に消毒、換気するよう検討する。
- (6)連泊する場合の客室の清掃は、チームの不在時に清掃する。または清掃しないことも選択肢とする。
- (7)チームが訪れる各所（特にトイレ）に手指消毒液を設置するよう検討する。
- (8)その他チームの行動規範 ①自室以外ではマスクを着用する。 ②エレベーターのスイッチや階段の手すりに、素手で触れないようにする。触れたら、すぐに手洗い、消毒する。
- (9)部屋割り ①原則、一人一部屋とし、部屋間の往來を禁止する。 ②部屋の換気を良くしてください。温度 21 度、湿度 50~60%が推奨される。

5. 食事（宿泊施設への依頼や相談）【選手、チームスタッフ】

- (1)選手の席は 1.5~2m の距離をあける。向かい合わせの配席は不可 (2)十分に広い部屋がない場合、
- (2)十分に広い部屋がない場合、グループ分けして食事時間をずらす工夫をする。
- (3)食事中は会話を厳禁とし、会話をする際にはマスクを着用する。（食事時間も長くないように考慮する。）
- (4)食事は一人ずつ取り分けた状態で用意する。（ビュッフェ形式は可能な限り避ける）。
- (5)食事中、宿泊施設の方は部屋にいないようにする。片付けはチームが退出したあとに行う。
- (6)ビュッフェ形式では料理を取る際、飛沫が大皿に飛ぶことを防ぐため、各人がマスクを着用し会話を控え個人専用トングを使用すること。
- (7)夕食が提供されない宿泊施設の場合、外食を避け、弁当などを手配する。

6. 宿泊所内ミーティング【選手、チームスタッフ】

- (1)可能な限り、ビデオ会議（バーチャル/ミーティング）をご検討する。
- (2)リアルで実施する場合、部屋の換気に留意すること。
監督・コーチ、選手が 1.5~2mの距離をとって着席する。配置図必要。

7. 試合当日の準備（本部）

- ①感染対策責任者（本部から1名）は両チーム、本部（レフェリー含む）の「健康管理チェックシート」を確認する
 - ・本部2名（感染対策担当者）はリンク2階入口にて、「リンク入場チェックシート」を見ながら入場者をチェックするとともに検温を実施する。
 - ・「リンク入場チェックシート」に記載されて無い者は入場を禁止

- ②使用する全ての場所に消毒液を設置する。またドアはドアノブを介しての接触を避けるため原則開放状態に保つ
- ③トイレ内においてはアルコール消毒液を用いてドアノブをはじめ複数の者が接触すると思われる場所をこまめに消毒する。また、リンク内各所にアルコール消毒液と除菌シートを用意する
- ④選手更衣室および休憩室は試合開始前と試合終了後に全て上記同様の消毒を行う。
 - ・競技設備、スタッフの準備
 - ・練習開始前までに、本部席内、PB 内、ゴール、バックの消毒を行う
 - ・チームベンチ内は試合開始前と後で各チームが消毒しているかチェックすること
 - ・本部席オフィシャルは最低限の人数とし、控室では密集、密接を避け、会場内では常にマスクを着用する
 - ・入場前体温測定で37.5 度以上の者がいた場合は以下の通りとする
 - a.チーム活動停止（発熱者へ早急にPCR検査または抗原検査実施）
 - b.チームドクターが居れば至急連絡し、チームドクターからチーム責任者（監督等）に状況報告を行う
 - c.チーム責任者は当連盟に報告を行う
 - d.感染の疑いがある場合、隔離、検査等適切な処置を行う。感染の疑いが無い、もしくは熱以外の症状が無い場合も適切に経過観察を行う

8. チーム・レフェリー・競技役員等会場入場者

①試合会場へのアクセス

- ・両チームの選手・スタッフは専用の移動手段(貸切バス、自家用車)を手配することが望ましい。
- ・入場時間はリンクから入場許可が出るまでリンクへ立ち入らない。試合開始1時間前から入場受付を開始。
- ・レフェリー・競技役員は原則として各自、自家用車を利用し必ずマスクを着用して来場する

②本予選会の参加者のみならず会場（施設）に入る者全員に事前の抗原検査実施を義務付ける。

- ・大会初日の2日前（12/23）から大会当日（12/25）の期間に抗原検査を実施すること。
- ・リンク入場チェックシート（当日用）に検査結果を記入して提出。
- ・大会2日目のチェックシート（当日用）には、抗原検査結果欄は空白とする。

③試合当日の健康管理

- ・大会開催の2週間前より、体調管理表またはアプリなどで健康管理を実施する
- ・当日、入場する選手、スタッフは自宅出発前に必ず検温をすること。

9. 観客

- ・本予選会は無観客で開催する
- ・各府県スポーツ（体育）協会の視察は認める

10. 報道、放送関係者への対応

①取材について

- ・「チェックインシート」「同意書」の提出と遵守を依頼する
- ・1社あたり2名までとすることを事前に通知する
- ・雑誌各社（およびフリーランス記者）が選手への取材を希望する場合は、リンク外で行う
- ・入場の際は報道受付にて検温を行い、体温 37.5 度以上の場合は取材をお断りする
- ・写真撮影を行う場合は当連盟にて定めた場所からの撮影のみ許可する

11. 試合前後のトレーニングでの全般的注意事項

- ①人と人の接触を減らす。チーム全体ではなく、グループ単位で。
- ②共通のモノを通じた接触を減らしこまめに消毒する。タオル・ウオータボトル・防具・スティックなど
- ③全員が感染防止マナーを守る。
 - a.社会的距離（できるだけ2m、最低1m）
 - b.咳エチケット（マスク着用を含む）
 - c.手洗い、手指消毒（70-80%アルコール、トイレなどのドアノブを触った後はこまめに消毒すること）
 - d.不用意に自分の顔、とくに目・鼻・口などの粘膜に触れない。
 - e.握手、ハイタッチ、抱擁など物理的な接触は禁止
 - f.唾吐きや不要な会話、大声を避ける。

1 2. 試合開始直前

- ①ブルーラインの整列は社会的距離（最低 1m）をとって
- ②試合開始直前に行うレフェリーからの注意は短時間で行う。
- ③試合開始に先立ち行う挨拶
 - a.レフェリーとの接触を避ける。握手せず社会的距離をとって礼のみ
 - b.相手チームスタッフとの接触を避ける。レフェリーも同様
 - c.挨拶後、両キャプテンはレフェリーのところに向かうが握手はせず、挨拶だけで行う。
- ④ 試合前に行う円陣は小さくならないように配慮。エアータッチなどの工夫で接触を避ける。

1 3. 試合中

- ①ベンチ内は社会的距離を意識し、向き合わないなどの工夫する。
- ②選手以外のスタッフはマスク・手袋・手指消毒など標準予防策をとること。
あごマスク等を含めマスクを外した場合は、懲戒の対象になる。
- ③選手への指示は飛沫感染を意識して少なめに、大声を出さないなど工夫する。
- ④タオル、飲水ボトル等を共用しない。（個人の物は、個人で運ぶ=スティックなど）
- ⑤氷上のパックは選手は手で拾わない。
- ⑥得点した時などの歓喜はハイタッチとする（注：抱き合ったりしない）
- ⑦審判への異議、抗議
 - ・本来リスペクト精神のもと禁じられるべき行為である。この感染症禍において「大声を出すことによる飛沫飛散」は絶対に避けるべきとの見地からも、大声での審判および相手選手・ベンチへの異議、抗議の行為は禁止する。
（1度目は注意，2度目でミスコンダクトペナルティー，別途，ローカルルールで定める）
- ⑧試合中にでた鼻水、唾液などがついたゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用し、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸を用いた 30 秒以上の手洗い、あるいはアルコール手指消毒薬による手指消毒をする
- ⑨すべてのゴミはリンクには捨てず、各自で持ち帰ること。
怪我をした選手を他の選手がむやみに接触しない。また、コート外に当該選手を移動させる際は、担架を活用する。
当該選手を移動させた場合、移動に関わった人は速やかに消毒を行う。
メディカルスタッフはラテックスグローブを活用する。
- ⑩唾吐き
 - ・いかなる場所においても唾吐き行為は「飛沫飛散」に直結することから禁止行為とし、ペナルティの対象とする
（ミスコンダクトペナルティー，別途，ローカルルールで定める）
- ⑪ペナルティボックス（PB）
 - ・PB アテンダントは必ずマスクを着用する
 - ・アテンダントは選手がボックスに入る際に PB に入り、扉を開けゲームがスタートしたら PB から出て待機する
 - ・ペナルティタイムが切れる10 秒前に再度入室し扉の開閉作業を行う
- ⑫ベンチ内の選手はスタッフ以外は着席をする。起立は次の S E T のみ。

1 4. 休憩時（ピリオド間）

- ①控室、リンクサイドでも社会的距離（できるだけ 2m、最低 1m）を確保する。
控室では最大 1 2 名以下の人数でミーティングを行う。
空きの部屋もなく社会的距離を確保できない場合には、ベンチ裏等も視野に工夫する。
- ②選手以外のスタッフはマスク・手袋・手指消毒など標準予防策をとること。
- ③選手への指示は飛沫感染を意識して短時間に、大声を出さないなど工夫する。
- ④控室の滞在時間を、できるだけ減らす。
- ⑤控室は窓を開けて、換気に心がける。控室を離れる際、施錠を忘れずに

1 5. 試合終了後

- ①試合終了後、両チーム分かれてブルーライン上で社会的距離（最低 1m）をとって整列する。

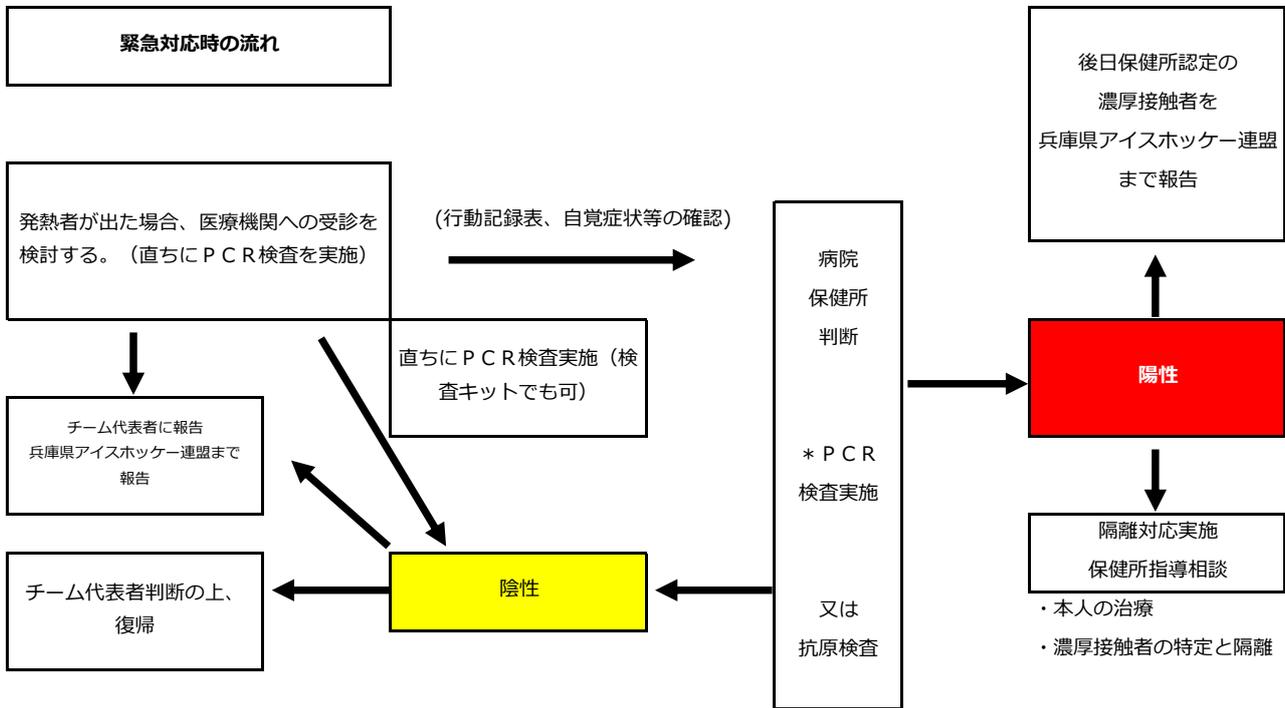
②レフェリー、相手チームへは挨拶はキャプテン1名のみで行う。

帰宅後すぐにシャワーを浴び手洗いうがいを徹底する。また、衣類（ジャージ、パンツシエル、ソックスなど）を高温で洗浄する。バランスの良い食事をとる。検温と共に行動記録を書く早めに就寝し、十分な睡眠時間を確保する。また、ヘルメットやグラブ、スティック、スケート靴など他人の飛沫がつきやすい用具の消毒、ジャージやストッキングなどの洗濯を行う。

緊急対応について

16. 本ガイドラインは選手、監督・コーチ・スタッフ等全てのチーム関係者（以下、関係者）を対象とし、大会開催2週間前から開催期間中の感染者への対応および連絡事項などを定める

- ① 発熱等の症状が発症し、感染が疑われる状況となった
(家族の感染が判明した、もしくは保健所から発症者の濃厚接触者に指定された場合も同様の対応を行う)
- ② 関係者が感染症とおぼしき病状を発症し感染が疑われる場合の対応および情報発信について
 - ・ 関係者対応
関係者は直ちに監督・チームドクター（もしくはトレーナー）に連絡、指示に従い自宅隔離もしくは医療機関を受診、医療機関・保健所にて必要と判断された場合PCR検査が行われる。
 - ・ 連盟対応
チーム責任者はこの時点で兵庫県アイスホッケー連盟へ報告を行う
チームからの連絡において個人名は原則非公開とし、感染が疑われる症例発生的事实、濃厚接触者の有無、およびチームの今後の対応（方針）のみ当連盟ホームページにて発表する場合がある



※チーム及びチーム関係者が陽性感染者及び濃厚接触者と判定される可能性がある場合、当該発症者の検査結果が出るまでは、感染拡大予防のためチームから即時離脱、可能な限り即時帰宅、自宅待機することを基本方針とする

※感染疑い症状発症者、体調不良者が病院を受診する場合は可能な限り自家用車で病院へ行き、受診の際も車内で待機して医師の指示に従うことが望ましい。

※管轄保健所は、本来居住地の保健所となるが自宅から遠方のリンクで

発症した場合は必要に応じて現地の保健所に問い合わせを行う。

出先で症状が重い、帰路に公共交通機関しか方法がないといった場合は

入院を検討する必要もある。

状態	対応	必要事項
本人が陽性反応かつ有症状	入院または隔離(保健所の指示に従う)	行動記録の確認 濃厚接触者の抽出
本人が陽性反応かつ無症状	入院または隔離(保健所の指示に従う)	使用場所の消毒・報告 学連へ報告
同居家族が陽性反応	保健所の指示に従う(家族が入院・隔離から10日間の自宅待機)	行動記録の確認 体調管理 学連へ報告
本人が濃厚接触者と認定される	保健所の指示に従う(10日間の自宅待機)	
同居家族が濃厚接触者と認定される (症状の有無を問わない)	同居家族との接触に応じて判断	
本人が体調不良 ※ PCR検査が陰性	陰性又は体調回復の日にちが遅い方から7日間の自宅待機	体調管理
同居家族が体調不良 ※ PCR検査が陰性	そのまま行動可能	
本人が体調不良※医師より PCR検査の必要無しと判断あり	PCR検査を実施(検査キットなどで) 陰性が確認でき次第活動再開。	行動記録の確認 体調管理・学連報告
同居家族が体調不良※医師より PCR検査の必要無しと判断あり	そのまま行動可能	体調管理
本人が体調不良 ※ PCR検査が未実施	PCR検査を実施(検査キットなどで) 陰性が確認でき次第活動再開。	体調管理 学連へ報告
同居家族が体調不良 ※ PCR検査が未実施	そのまま行動可能	体調管理

※医学的には「体調不良」は自覚症状のため定義はない。一般的には発熱、下痢、咳嗽、頭痛、腹痛、

倦怠感、悪寒、食欲不振等を言う。

※体調不良について、直接診断した医師が新型コロナウイルス感染症と明らかに異なると判断をした場合、

医師の判断を優先する(待機期間の短縮等)ことができる。

※陽性感染者が発生した場合、本人以外が使用しない道具の消毒不要。不特定多数の人が触れる所(ドアノブ、テーブルなど)のアルコール消毒のみで良い。

※陽性感染者、濃厚接触者が着用したリネン・洋服などについては、80℃10分以上の熱湯消毒の後に通常の洗濯を実施する。

新ルールの適用範囲およびローカルルール

1. 新ルールの適用範囲

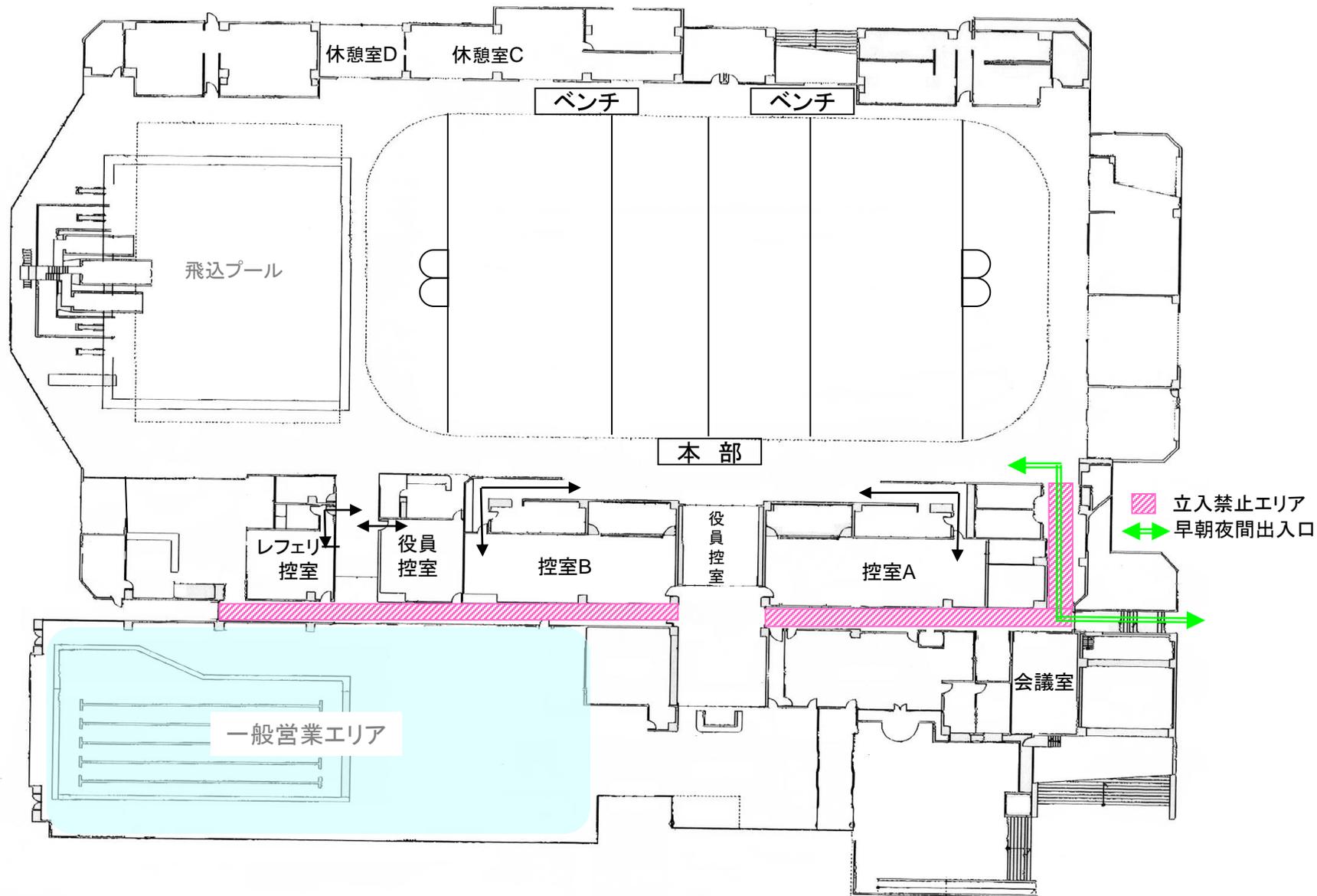
日本アイスホッケー連盟より配信された JIHF20201～2022 第 052 号の内、下記以外を適用する。

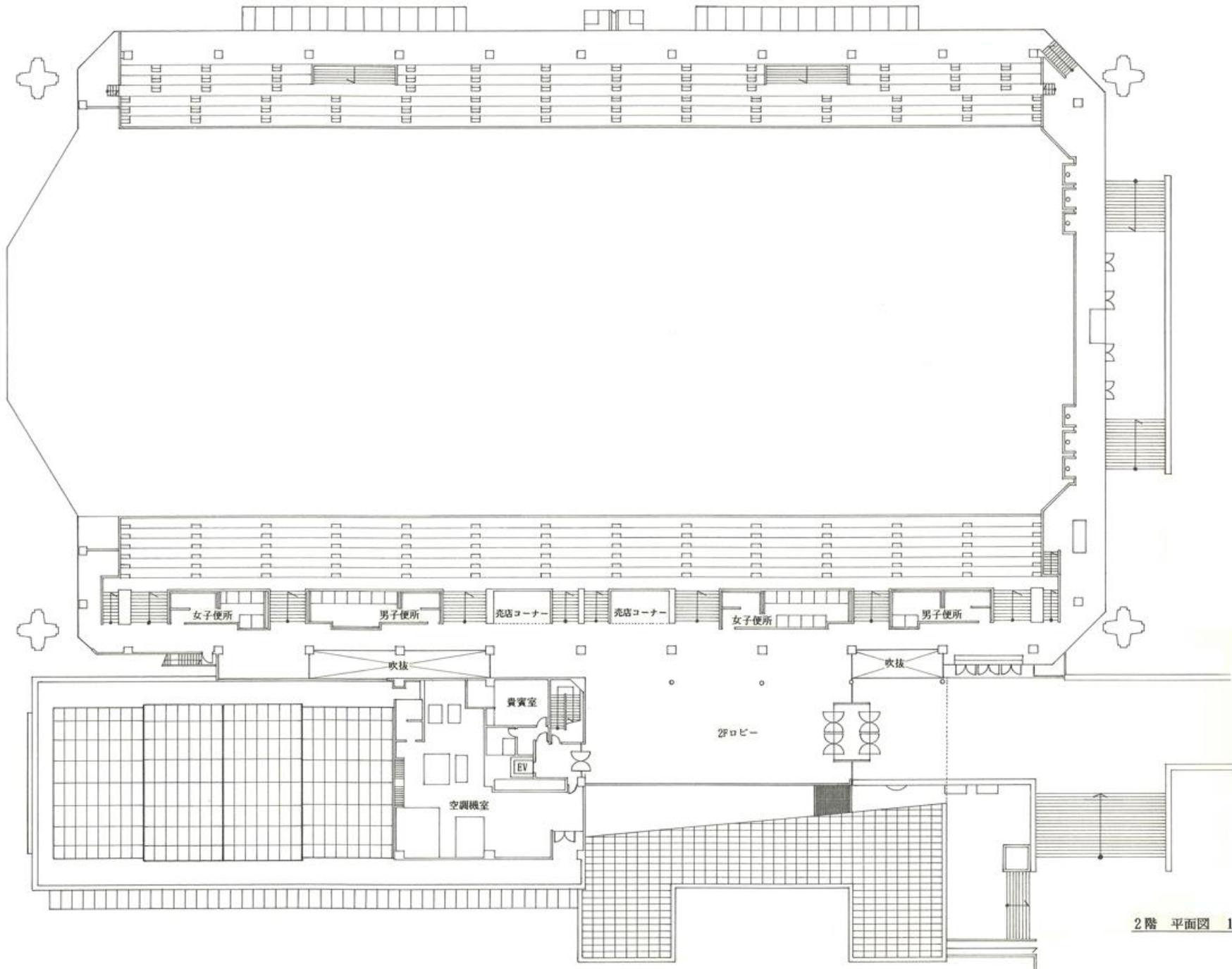
- ・第 27 条 ゴールキーパーの制限エリア
- ・第 38 条 コーチチャレンジ

2. ローカルルール

- 1) アイスホッケー公式国際競技規則第 135 条で規定される『ディレイ・オブ・ゲーム/パックを競技エリアの外に出す行為』が適用されるのは、本大会で使用するリンクの構造上、コーナー付近のローボードとゴール裏のハイボード上を通過した場合のみとする。
- 2) リンク内およびベンチからリンク内にむかって唾を吐いた選手はアンスポーツマンコンダクトのミスコンダクトペナルティを科す。ベンチスタッフが唾を吐いた場合はプレイヤーが代行する。
- 3) ゲーム中及びゲーム中断時にプレイヤーズベンチ内でプレイヤーおよびベンチスタッフが、大声で叫ぶ行為やベンチスタッフがマスクを外して大声で叫ぶ行為をレフェリーが確認した場合は、当該チームに 1 度警告を与える。警告後、同じチームのプレイヤー及びベンチスタッフが行為を行った場合は、アンスポーツマンコンダクトのミスコンダクトペナルティを科す。ベンチスタッフが大声を出す行為でペナルティを科せられた場合は、プレイヤーが代行しペナルティーベンチに入る。プレイヤーズベンチから大声で叫ぶ行為は、確認出来たが、プレイヤー及びベンチスタッフを断定できない場合は、チームが指名したプレイヤーがペナルティ遂行する。チームがプレイヤーを指名出来ない場合は、レフェリーが指名出来る。

以上





2階 平面図 1:300

周辺駐車場案内

周辺道路は駐車禁止となっております。
神戸コンベンションセンターへお越しの際は、
必ず周辺駐車場をご利用いただきますよう
お願いいたします。



施設名	01 東臨時駐車場	02 西臨時駐車場	03 南臨時駐車場	04 下水処理場屋上駐車場	05 神戸国際展示場地下駐車場	06 市民広場地下駐車場
営業時間	7:00 ~ 22:00	7:00 ~ 22:00	イベント時営業 要予約 7:30~22:00 入庫は19:00まで	24時間	7:00 ~ 22:00 入庫は、21:30まで	7:30 ~ 22:00 入庫は、21:30まで
料金	普通車 1日1回 700円 ※ 営業時間外 1,000円/回	普通車 1日1回 700円 ※ 営業時間外 1,000円/回	普通車 1日1回 700円 大型車 1日1回 2,000円	1時間毎 100円 7:00以降入庫し 22:00までに出庫した場合は 最大700円	2時間まで 300円 3時間まで 450円 4時間まで 600円 4時間以上 750円 営業時間外(翌7:00まで) 1,000円加算されます	1時間毎 150円 上限なし
台数	194台	250台	496台	259台	200台	186台
連絡先	078-304-0133 株式会社OMこうべ	078-304-0133 株式会社OMこうべ	078-304-0133 株式会社OMこうべ	078-304-0133 株式会社OMこうべ	078-302-1020 国際展示場	078-303-0451 市民広場

※ 西臨時駐車場及び南臨時駐車場は、イベントによって関係者のみになる場合がございます。
ご利用の際はご確認ください。